

道の駅うご「端縫いの郷」が大賞受賞！

令和元年5月28日、宮城県仙台市の仙台国際センターにおいて第27回東北「道の駅」連絡会 総会が開催されました。総会では各県の代表者により、道の駅が取り組んでいる様々な工夫を発表する事例発表会が行われ、秋田県からは、安藤 豊 羽後町長が、道の駅うご「端縫いの郷」の取り組みを発表され見事“道の駅大賞”を受賞しました。

道の駅うごは、コンセプトである「近き者説(よろこ)び、遠き者来る※」のとおり、伝統ある西馬音内盆踊りをモチーフに取り入れたり、200年の歴史がある西馬音内蕎麦の技術を継承し来場者に提供するなど、地域の文化や特産を活かした取り組みにより、地場産業の成長や観光客増加等、地域活性化に大きな役割を果たしており、また積極的に女性社員を登用し(全社員の約8割が女性！)、カフェスペースの設置や清掃の徹底など、女性の視点での意見・提案を多く取り入れたことが評価されました。

本発表会は今年で6回目となりますが、秋田県代表が大賞を受賞するのは今回が初めてであり、これを機に各道の駅の更なる活躍が期待されます。

※「近き者説(よろこ)び、遠き者来る」とは：孔子の教えを伝える論語の一節で、「近くにいる民が喜び幸せである。すると、遠くにいる民もそれを聞いて集まってくる」の意。

道の駅うご 端縫いの郷の紹介

「近き者説(よろこ)び、遠き者来る」

□管理・運営者：株式会社おも・しま
□オープン：平成28年 7月 1日
□道の駅登録：平成28年5月10日



道の駅うご 端縫いの郷

羽後町

来客数の推移

平成28年度 505,000人(7月開業)
平成29年度 647,000人
平成30年度 728,000人

オープンから3年で188万人
5月22日に**200万人**達成！

道の駅うご 来場者数の推移 (H28.7~H31.3)



売上額1強 弾力方針 徹底

成果
○200年の伝統技術継承の担い手として期待
○西馬音内蕎麦再燃の火付け役

課題
●町内蕎麦粉の確保が難しい

・羽後町名物「西馬音内蕎麦」を手軽に楽しんでもらえます。

・創業200年の伝統技術を継承する「西馬音内蕎麦」提供の機軸がメディアに登場するたびに、町内に繰り出すお客さんが増えたという声が聞こえており「西馬音内蕎麦ブーム」の火付け役となっています。





【安藤町長による発表】



【表彰式】